

資料

自己評価による考えの調整過程を可視化するワークシート

資料①「単元を貫く課題が二者択一で、課題に対して立場の選択とその理由を考える場合」(事例：ヨーロッパ州)

- ①-1 ワークシートの説明
- ①-2 ワークシート
- ①-3 ワークシートの記入例

資料②「単元を貫く課題に対して、課題に対する予想とその理由を考える場合」(事例：アフリカ州)

- ②-1 ワークシートの説明
- ②-2 ワークシート
- ②-3 ワークシートの記入例

令和3年度 長期研修員
小柴 瑛

自己評価による考えの調整過程を可視化するワークシート・1

単元を貫く課題 ~ヨーロッパ州の地域統合「EU」のこれからについて考えよう!~

ヨーロッパ州の発展のためには、地域統合をこれからも進めていくべきか・進めていくべきではないか

自分の考え

進めていくべき
進めていくべき

理由
理由

自分の考え：立場の選択とその理由

追 究 * 最初の自分の考えについて、学習したことで照らし合わせて自己評価しよう。

追 究	ア	イ	そのように判断した理由
1			
2			
3			

自己評価①

まとめ ① 追究を基に、根拠をもって自分の考えをまとめよう。

主張： 進めていくべき _____ 進めていくべきでない _____

理由：(学習内容や資料) から、 ~と考えたから。

② 他人との交流を通して、自分の考えを自己評価しよう。

友達への考え (新たな気付きには、正論を引こう)

自己評価②

主張： 進めていくべき _____ 進めていくべきでない _____

③ 新たな気付きや異なる意見を踏まえ、最終的に自分の考えをまとめよう。

主張：ヨーロッパ州の発展のためには、地域統合を (_____) と考える。

理由：なぜなら、 _____

単元の学習を終えて… これからのEUがよりよく在るために、大切なことは何だろう?

1) つかむ過程、追究する過程では、単元のワークシートとして活用

単元のつかむ過程 (単元を貫く課題設定の時間の終末)

- ・単元を貫く課題について、最初の自分の考え (予想・見通し) をもつ。

単元の追究する過程 (追究の各単位時間の終末)

* 通常の授業の、振り返りの時間に行う。

- ・単位時間ごとに、単元を貫く課題に対する最初の自分の考え (予想・見通し) を、その時間の学習内容に照らし合わせて、自己評価する。

自己評価①：最初の自分の考え (予想・見通し) は、本時の学習内容に照らし合わせると、「ア：このままでよい」か、「イ：修正が必要」か判断し、どちらかに「○」を記入する。また、そのように判断した理由を、学習内容を根拠に記入する。

- * 分野や単元によっては、毎時間自己評価するのではなく、内容のまとまりごとに、適切と思われるところで取り入れる。

2) まとめる過程では、授業のワークシートとして活用

単元のまとめる過程

- ① 単元を貫く課題に対して、追究の自己評価①で行った考えの調整を基に、これまでの学習内容を根拠に自分の考えをもつ。

- ② 追究を基にもった自分の考えを、他者との交流を通して、自己評価する。

交流の視点：根拠が明らかで、他の人にとっても納得できるものか
様々な立場から考えることができているか

- 自己評価②**：追究を基にもった自分の考えは、他者との交流を踏まえると、「このままでよい」か、「修正が必要」か判断し、考えの調整の結果をバロメーターに記入する。

- ③ 自己評価の判断の理由、新たな気付きを基に考えたこと、異なる意見への反論、異なる意見を踏まえた新たな提案などを加え、最終的な自分の考えを記述する。

自己評価による考えの調整過程を可視化する

単元を貫く課題 ～ヨーロッパ州の地域統合“EU”のこれからについて考えよう！～

ヨーロッパ州の発展のためには、地域統合をこれからも進めていくべきか・進めていくべきでないか

自分の考え 進めていくべき
進めていくべきでない

理由：



追究 *最初の自分の考えについて、学習したことと照らし合わせて自己評価しよう。

ア：このままでよい イ：修正が必要

追究	ア	イ	そのように判断した理由
1			
2			
3			

まとめ ①追究を基に、根拠をもって自分の考えをまとめよう。

主張： 進めていくべき ————— 進めていくべきでない

理由：(学習内容や資料) から、～と考えたから。

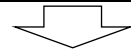


②他の人との交流を通して、自分の考えを自己評価しよう。

友達の考え (新たな気付きには、下線を引こう)

主張： 進めていくべき ————— 進めていくべきでない

③新たな気付きや異なる意見を踏まえ、最終的な自分の考えをまとめよう。



主張：ヨーロッパ州の発展のためには、地域統合を () と考える。

理由：なぜなら、

単元の学習を終えて… これからのEUがよりよく在るために、大切なことは何だろう？

単元を貫く課題 ～ヨーロッパ州の地域統合“EU”のこれからについて考えよう！～

ヨーロッパ州の発展のためには、地域統合をこれからも進めていくべきか・進めていくべきでないか

自分の考え 進めていくべき
 進めていくべきでない

理由：小さな国が多いヨーロッパが経済的な発展を続けるには、これからも協力していくことが必要だと考えたから。



追 究 *最初の自分の考えについて、学習したことと照らし合わせて自己評価しよう。

ア：このままでよい イ：修正が必要

追究	ア	イ	そのように判断した理由
1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	EUに加盟したことによって、移動や買い物などで人々の生活が便利になり、加盟国の自由な移動によって経済が潤っているから。
2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	経済的に不安定な国への補助金の増加が財政を圧迫したり、工業化が遅れた国から進んだ国に人々が集まって工業化の差が広がったりして、国の実態によって不満が高まり対立が生まれてしまいそうだから。
3	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	経済格差は問題だが、離脱に反対したイギリスの若者の意見にあったように、統合が進んだことで、勉強や仕事の選択肢が広がったというよい面もあるから。

ま と め ①追究を基に、根拠をもって自分の考えをまとめよう。

主張： 進めていくべき 進めていくべきでない

理由：(学習内容や資料) から、～と考えたから。

現在 EU で加盟国間の経済的な格差が広がり、負担を巡って争いも起こっていることから、これからも進めていくと、更に格差が広がり、加盟国間で新たな対立や差別が広がってしまうと考えたから。

②他の人との交流を通して、自分の考えを自己評価しよう。

友達の考え (新たな気付きには、下線を引こう)

- ・いくべき：移民や経済格差などの問題を解決するためには国家間の協力が必要
 : そもその目的であるヨーロッパ全体の経済発展のためには必要
- ・いくべきでない：これ以上豊かではない東ヨーロッパの国の加盟が増えると、西ヨーロッパの国の負担が増えていくだけ

主張： 進めていくべき 進めていくべきでない

③新たな気付きや異なる意見を踏まえ、最終的な自分の考えをまとめよう。

主張：ヨーロッパ州の発展のためには、地域統合を (進めていくべきでない) と考える。

理由：なぜなら、現在 EU では加盟国間の経済的な格差が広がり、負担を巡る対立も起こっていることから、これからも進めていくと、更に格差が広がるだけでなく、豊かな国の負担もますます増えることになり、加盟国間だけでなく、加盟国の国内でも不満が高まり新たな対立や差別が広がってしまうと考えたから。

交流を通して、ヨーロッパ全体の経済発展のために統合を進めていくべきという意見もあったが、格差をなくす努力を最優先に考えた方がよいと思った。

単元の学習を終えて… これからのEUがよりよく在るために、大切なことは何だろう？

統合に参加している様々な国や立場、様々な世代の人の意見を取り入れて政策を決めることや、負担がどこの国や誰かだけに集中しないことが、これからのEUがよりよく在るために大切なことだと思った。

単元を貫く課題 ~アフリカ州のこれからについて考えよう！~
アフリカ州の貧困問題解決のために、日本ができることは何だろうか？

自分の考え 理由
自分の考え：課題に対する予想とその理由

追究 * 最初の自分の考えについて、学習したことを照らし合わせて自己評価しよう。
ア：このままでよい イ：修正が必要

追究	ア	イ	そのように判断した理由
1			
2			
3			

自己評価①

まとめ ① 追究を基に、相換をもって自分の考えをまとめよう。

できること：
理由：(学習内容や資料) から、～と考えたから。

② 他人との交流を通して、自分の考えを自己評価しよう。ア：このままでよい イ：修正が必要
友達への考え (新たな気付きには、下線を引こう)

自己評価②

③ 新たな気付きや異なる意見を踏まえ、最終的に自分の考えをまとめよう。
できること：貧困問題解決のために日本ができることは () と考える。
理由：なぜなら、

単元の学習を終えて… これからのアフリカ州がよくなるために、大切なことは何だろうか？

1) つかむ過程、追究する過程では、単元のワークシートとして活用

単元のつかむ過程 (単元を貫く課題設定の時間の終末)

- ・単元を貫く課題について、最初の自分の考え(予想・見通し)をもつ。

単元の追究する過程 (追究の各単位時間の終末)

* 通常の授業の、振り返りの時間に行う。

- ・単位時間ごとに、単元を貫く課題に対する最初の自分の考え(予想・見通し)を、その時間の学習内容に照らし合わせて、自己評価する。

自己評価①：最初の自分の考え(予想・見通し)は、本時の学習内容に照らし合わせると、「ア：このままでよい」か、「イ：修正が必要」か判断し、どちらかに「○」を記入する。また、そのように判断した理由を、学習内容を根拠に記入する。

- * 分野や単元によっては、毎時間自己評価するのではなく、内容のまとまりごとに、適切と思われるところで取り入れる。

2) まとめる過程では、授業のワークシートとして活用

単元のまとめる過程

- ① 単元を貫く課題に対して、追究の自己評価①で行った考えの調整を基に、これまでの学習内容を根拠に自分の考えをもつ。

- ② 追究を基にもった自分の考えを、他者との交流を通して、自己評価する。

交流の視点：根拠が明らかで、他の人にとっても納得できるものか
様々な立場から考えることができるか

- 自己評価②**：追究を基にもった自分の考えは、他者との交流を踏まえると、「ア：このままでよい」か、「イ：修正が必要」か判断し、どちらかに「○」を記入する。

- ③ 自己評価の判断の理由、新たな気付きを基に考えたこと、異なる意見への反論、異なる意見を踏まえた新たな提案などを加え、最終的な自分の考えを記述する。

自己評価による考えの調整過程を可視化する

単元を貫く課題

～アフリカ州のこれからについて考えよう！～
アフリカ州の貧困問題解決のために、日本ができることは何だろう？



自分の考え

理由：

追 究 *最初の自分の考えについて、学習したことと照らし合わせて自己評価しよう。

ア：このままでよい

イ：修正が必要

追究	ア	イ	そのように判断した理由
1			
2			
3			

まとめ ①追究を基に、根拠をもって自分の考えをまとめよう。

できること：

理由：(学習内容や資料) から、～と考えたから。

②他の人との交流を通して、自分の考えを自己評価しよう。 ア：このままでよい イ：修正が必要

友達の考え (新たな気付きには、 <u>下線を引こう</u>)	ア	イ

③新たな気付きや異なる意見を踏まえ、最終的な自分の考えをまとめよう。

できること：貧困問題解決のために日本ができることは () と考える。

理由：なぜなら、

単元の学習を終えて… これからのアフリカ州がよりよく在るために、大切なことは何だろう？

単元を貫く課題

～アフリカ州のこれからについて考えよう！～
アフリカ州の貧困問題解決のために、日本ができることは何だろう？



自分の考え

お金の援助を行うこと

理由：貧困は、お金が人々に十分に行き渡っていないために起こると思うから。募金が行われているから。

追 究 *最初の自分の考えについて、学習したことと照らし合わせて自己評価しよう。

ア：このままでよい イ：修正が必要

追究	ア	イ	そのように判断した理由
1	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	モノカルチャー経済から脱しないと、経済が不安定なままなので、工業化を進めるためにお金の援助をすればよいと考えたから。
2	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	お金の援助をしても食料不足は解消しないので、食料そのものを支援し、公平に分配されるような仕組みを作ることが必要だと考えたから。
3	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	貧困問題解決のための取組として、工業化を進めて安定した経済にすることを目指している国があることを知ったので、工業化の支援をすればよいと考えたから。

まとめ ①追究を基に、根拠をもって自分の考えをまとめよう。

できること：工業化への支援

理由：(学習内容や資料) から、～と考えたから。

発展途上国の多くが、経済的に不安定なモノカルチャー経済が原因で貧困から抜け出せないから、資源の輸出だけに頼らず工業化を進めることが必要だと考えた。工業化が進めば、工場で働き、安定した収入を得ることができる人が増えると考えた。

②他の人との交流を通して、自分の考えを自己評価しよう。 ア：このままでよい イ：修正が必要

友達の考え (新たな気付きには、 <u>下線を引こう</u>)	ア	イ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困の原因は人口増加による食料不足→食料支援+食料生産のための<u>農業技術支援</u> ・ アフリカに進出した日本の企業の工場で、現地の人を雇う+技術指導 ・ 働くためには、文字が読めたり書けたりしなければいけない→教育の整備が必要 	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

③新たな気付きや異なる意見を踏まえ、最終的な自分の考えをまとめよう。

できること：貧困問題解決のために日本ができることは (工業・農業の技術指導だ) と考える。

理由：なぜなら、工業化を進めるためには、資金だけでなく工業技術を指導して自分たちで工業化を進めることができるようにしないと、持続可能な発展につながらないと考えたから。

また、友達の意見を聞いて、工業技術の指導だけではなく、主食の栽培技術を指導して輸入に頼らないようにしていくことも、自分たちで食料不足を解消することにつながると考えたから。

単元の学習を終えて… これからのアフリカ州がよりよく在るために、大切なことは何だろう？

貧困問題の解決を図り、誰かに頼る発展ではなく、自立した発展を目指すこと。支援する側も、自立につながる支援をすることが大切だと思う。自分ができることとして、フェアトレード商品を購入してみたい。